国立国語研究所と島民の取り組み

国立国語研究所（国語研）とは、日本語・日本のことばの科学的研究機関です。言語研究者としてしまむにの保存・継承活動に取り組む島民達を支えています。ここでは、そんな国語研の研究者と沖永良部島の島民が、力を合わせて取り組んできた成果について紹介します。



山田真寛さん
（国立国語研究所 准教授）



横山晶子さん
（国立国語研究所
テニュアトラック助教）



エイデン・コールマンさん
（国立国語研究所所属・アメリカ出身）



トレバー・スレヴィンさん
（国立国語研究所所属・アメリカ出身）

和泊町・知名町・国立国語研究所の三者協定

2015年からの草の根活動を基盤とし、2019年の両町との個別の協定を引き継ぐ形で、2025年に和泊町・知名町の両町と「しまむにに関する連携協力協定」を締結。行政と研究機関が正式にタッグを組んで全島的な継承活動を推進する体制を確立しました。



山田真寛さん

松村雪枝さんとの絵本『みちゃぬ ふい』作りから始まり、増えていく仲間に公的機関も加わってくださいました。6年にわたる両町のご尽力のおかげで、「えらぶを全国の言語復興のモデルケースに」を、本当に実現する段階まできました。



前 和泊町長

国語研との連携協定は、消滅の危機にあるしまむにを未来へつなぐ大きな一歩で、後世に伝えられる土台ができたと感じています。島の文化の根である言葉を、日常に取り入れ、学術的にも記録し、全国に誇れるモデルに育てていきたい。

しまむにサロンで市民科学者を育てる

2019年に知名町公民館で「しまむに講座」（現在は「しまむにサロン」に改称）を開講。言語学習だけでなく、記録方法や辞書の作り方を教えて、住民自身が研究者の視点を持つ「市民科学者」となるよう育成に取り組みました。これが後に、住民主体の辞書づくりにつながりました。



横山晶子さん

『しまむにサロン』は、しまむにを学びたい人や、大切に思う人が集まり、島内各地の継承活動が生まれる起点となってきました。これからも新しい学びを共有しながら、大切に育てていきたいです。



田中美保子さん

サロンのメンバーは、島中から参加していて、字ごとにしまむにが微妙に違います。「〇〇字ではこんな言い方をするんだね、おもしろい!」「しまむにはみんな違ってみんないい!」を発見できる、まさに文化交流の場です。



マスター・アプレンティスによるマンツーマン伝承

2024年から、しまむに母語話者（マスター）と学習者（アプレンティス）がペアになり、生活の中でマンツーマンで言語を受け継ぐ「マスター・アプレンティス」プログラムが開始。米国カリフォルニア州で1990年代から実践される手法で話者を育成します。



横山晶子さん

マスター・アプレンティスは、多様な島のことばをできるだけそのまま次世代へつなぐための魅力的なアプローチです。現代社会の中で無理なく続けられ、他の危機言語にも応用できる形を目指しています。



勝間千津子さん

母と娘、時には孫も一緒に始めて2年になります。菓子作りや植物を使った昔ながらの遊びを、しまむにで説明しながら進めます。作業中、思わぬしまむにが出てきたり、生きた会話が互いに学べたりと、しまむにを再認識できます。

AI たんにゃん

下平川小学校と連携協定&島ムニまつり

2025年に知名町立下平川小学校と、国語研では初となる連携・協力校として協定を締結。同校の「島ムニタイム」などの授業に対し、カリキュラム面での支援を行います。2ヶ月後には早速、「第1回島ムニまつり」を共催しました。



エイデン・コールマンさん

子ども向けのイベントに参加する機会が少なかったので、彼らのしまむにへの思いや意識が気になっていました。島ムニまつりでは、しまむにについて、親子で気楽に話したり、スタンプやグッズに興味を持ったりしていて、すごく感動しました。



西啓亨さん
（下平川小学校校長）

国語研との連携のおかげで、話者でない教員でもしまむにに取り組みやすくなり、指導法や教材などの成果を島内の他校に広めやすくなったと思います。また、島ムニまつりでは地域ぐるみで楽しむことができました。



三世代でしまむに継承プロジェクト

2017年、親子三世代でしまむにをつなぐ「しまむにプロジェクト」を実施。子どもたちの夏休みの自由研究として、前田さん一家など島の4家族が共通語の歌や絵本をしまむににしたり、カルタを作ったりという作業を通じて、しまむに継承に取り組みました。2019年、前田さん夫妻はアメリカで行われた国際シンポジウムで発表しました。



山田真寛さん

しまの人たちが「やりたい」と思うこと（内発的に動機づけられること）を知るために始め、翌年以降も国頭小学校、和泊町役場で実施しました。蒔いた種は育ち、高校生になってしまむにをテーマに探求プロジェクトに取り組む子たちもいます。



前田ゆり香さん

山田さんがいなければ気付けなかったしまむにの大切さ。気付けたのなら、私たちにも何かできるはず。子どもも大人もばーばもじーじも、みんなでおもしろがりながら活動を考える。みじらしゃぬ くとぅわ ちぢきゅんどー！

田皆字の辞書づくり&チャット型AI「AIたんにゃん」

2023年から田皆字の住民グループ「たんにゃむにサークル」に対し、辞書制作の技術的支援を行いました。2025年8月に「たんにゃむに辞書」初版が刊行。また、高齢者から聞き取り集めた言葉をデータベース化し、チャット上でたんにゃむに（田皆字の方言）についてのクイズ出題などをしてくれる「AI たんにゃん」を開発しました。





トレバー・スレヴィンさん

初めて沖永良部に行ったとき、えらぶぬちゅーのしまむに復興へのやる気に驚き、感動しました。この強いやる気のおかげで、辞書を作成するため、みんなと一緒に一生懸命頑張ることができました。しまぬちゅーの努力に感謝しています。

研究者のご指導のお陰で「たんにゃむに辞書」「AI たんにゃん」が活用でき、字民はもちろん島を離れ都会に暮らす方々からも大好評です。いつでも・どこでも・親しめる・学べる、更に充実した辞書を目指してこれからも取り組みます。



田邊ツル子さん